

石油産業新聞社 2012 春季ガスエネルギーセミナー

メインテーマ

大規模集中型から分散型へ
新たなガスエネルギーの事業戦略を探る

平成24年 2月吉日

企画趣旨

昨年3月11日の東日本大震災・福島原発事故をきっかけに、これまでのエネルギー政策は、抜本的な見直しがおこなわれ、今夏までには新たな方向性に基づく我が国のエネルギー基本計画が策定される予定です。

原発事故に対する国民の声はまだまだ厳しく、定期点検後の再稼働も難しく、電力供給の不安定性が解決されないまま、節電、省エネ対策等が引き続き避けられない状況であり、日本経済回復の大きな障害となっております。

電力需給が懸念される中、新たなエネルギー源として期待されているのが小規模分散型発電です。国の補助金制度の後押しを受け、普及拡大を続ける太陽光発電。さらに、ハウスメーカーの積極採用により、本格的な普及段階を迎えつつあるエネファームなど、ガス関連業界にとって、ガス体エネルギーの役割や重要性、メリットなどをあらためて社会に大きく訴えて行く絶好の時代が到来しつつあります。

弊紙では、震災、原発事故を教訓にした、これからの新しいエネルギー供給のあり方、エネルギーのベストミックスを軸にした、新たな時代の事業戦略について考えるセミナーを企画致しました。

◆日時：4月13日(金) 13:00～17:00

◆場所：東京都・航空会館

企画・主催


石油産業新聞社


本 社 〒105-0001 東京都港区虎ノ門 2-6-13 三木虎ノ門ビル

TEL.03-3503-0606

関西支社 〒530-0047 大阪市北区西天満 5-10-16 植月ビル

TEL.06-6364-2497

中部支局 〒453-0014 名古屋市中村区則武 2-26-15-311号

TEL.052-452-1206

東日本支局 〒950-0053 新潟市東区宝町 7-8

TEL.025-270-9112

後 援：日本LPガス団体協議会

NPO法人 テレメータリング推進協議会

スケジュール

13:00 開講

13:05 ~ 14:15

① 震災、原発事故を受けての 我が国エネルギー政策の方向性

財団法人 日本エネルギー経済研究所
顧問 十市 勉 氏



14:15 ~ 14:30 コーヒーブレイク

14:30 ~ 15:40

② 太陽光発電時代~新エネルギーの プロとして垣根を越えた事業経営を — 2000件設置の経験をふまえて —

山二ガス株式会社
代表取締役社長 二上 隆雄 氏



15:40 ~ 15:45 小休憩

15:45 ~ 16:55

③ ガス関連事業者として 新エネルギー事業とどう取り組むか

東京工業大学大学院
教授 柏木 孝夫 氏



17:00 終了

日時

4月13日 金 13:00 ~ 17:00

(12時30分より受付、座席はお申込み順)

参加費

15,000 円

(受講料・資料代・飲み物代・税、含む)

会場

東京・新橋「航空会館」7階
大ホール

東京都港区新橋 1-18-1 TEL 03-3501-1272

定員

120人

(定員になり次第、締め切らせていただきます)

申込

受講を希望される方は、裏面申込書でお申込みください。
申込書は、当社ホームページからも印刷出来ます。

講師プロフィール

講師 十市 勉 氏 プロフィール

財団法人日本エネルギー経済研究所 顧問
 1968年東京大学理学部卒、73年東大理学系大学院地球物理コース博士課程修了、同理学博士。同年日本エネルギー経済研究所研究員、94年理事・総合研究部長、2000年常務理事・第1研究部長、2006年専務理事・首席研究員、2011年顧問。専門分野はエネルギー、地球環境問題。主な著書に「歴史から読む現代経済」12章エネルギーの覇権（日本経済新聞社編 2005年）、「21世紀のエネルギー地政学」（産経新聞出版 2007年）などがあり、政府審議会等委員も数多く歴任。NHKラジオ朝6時43分からの番組「ビジネス展望」（エネルギー問題）のレギュラーメンバー。

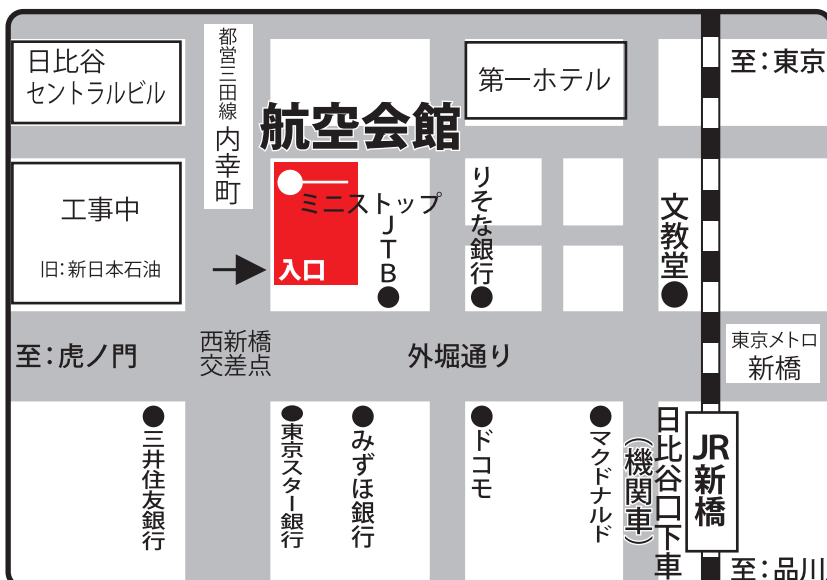
講師 二上 隆雄 氏 プロフィール

山二ガス(埼玉県所沢市) 代表取締役社長
 1940年、埼玉県所沢市生まれ。
 LPガス供給事業を中核としながら、ガス・電気・水道・セキュリティを統合化した、新たなライフライン事業の形を追求。
 90年代からは、太陽光発電システムの可能性にいち早く着目し、これまでに2000件超の取付実績を持つ。
 2008年には太陽光専門の訓練校「アースソーラーカレッジ」を設立。後進育成にも力を注ぐ。
 コーポレートビジョンは「ライフラインに限りなき情熱と意志を注ぐ」。

講師 柏木 孝夫 氏 プロフィール

東京工業大学大学院教授
 1970年東京工業大学工学部卒、79年博士号取得。80～81年米国商務省NBS招聘研究員などを経て、88年東京農業大学工学部教授に就任。95年IPCC第2作業部会の代表執筆者となる。2007年から現職。経済産業省の総合資源エネルギー調査会新エネルギー部会長(2010年3月まで)、日本エネルギー学会会長(21代)・日本学術会議連携会員などを歴任。2009年からは経済産業省「再生可能エネルギーの全量買取りに関するプロジェクトチーム委員会」委員、「低炭素社会におけるガス事業のあり方に関する研究会」委員長などを務めている。主な著書に「地球からの贈り物」「エネルギーシステムの法則」「マイクロパワー革命」などがある。

航空会館地図



見学会(希望者のみ)



Aコース

- 見学先 「ENEOS創エネハウス」
- 日 時 4月12日(木)13:30~15:30
- 内 容 高断熱・高気密性をもつ住宅に、家庭用燃料電池、太陽光発電、蓄電池などの最先端のエネルギー機器を設置したスマートハウスです。
- 定 員 20人(定員に達し次第、締切らせていただきます)
- 集合時間 13:00
- 集合場所 東急東横線「大倉山駅改札口」※大倉山駅から徒歩約10分。(見学会終了後は大倉山駅で解散とします)
- 会 費 無料(交通費は各自負担)



Bコース

- 見学先 「東京ガス 暮・楽・創ハウス」
- 日 時 4月13日(金)9:20~10:45
- 内 容 東京ガス千住テクノステーション内に、近未来住宅があり、キッチンを中心とした新しい生活提案をしています。
- 定 員 20人(定員に達し次第、締切らせていただきます)
- 集合時間 9:00
- 集合場所 地下鉄日比谷線「南千住駅、南口出口」※見学会終了後、セミナー会場までご案内します。昼食は、セミナー会場近くでご自由。
- 会 費 無料(交通費は各自負担)

◆申込先 石油産業新聞社セミナー係
 (FAX03-3501-4704)
 ※どちらか1つをお選びください。
 - (なるべく前泊される遠方の方をお願いします)

- ・JR新橋駅 日比谷口(機関車のある方)
- ・地下鉄新橋駅 ⑦出口
東京メトロ銀座線/都営浅草線
- ・地下鉄内幸町駅 A2出口 都営三田線

石油産業新聞社
2012 春季ガスエネルギーセミナー係宛
FAX. 03-3501-4704

★お願い

このページをコピーして
必要事項をご記入のうえ
FAXでお申込み下さい。

2012 春季ガスエネルギーセミナー
参加申込書

2012 年 月 日

貴社(団体)名	
ご担当者名	
ご住所	〒
お電話	
F A X	

メールアドレス(任意)		※見学会への参加を 希望される方は○ (いずれか1つに)
-------------	--	------------------------------------

所属・職名	参加者ご氏名	見学会	
		Aコース	Bコース

★参加費用お1人様 15,000円は「りそな銀行 虎ノ門支店 (株)石油産業新聞社
口座番号 ③0311541」へお振込み下さい。(振込予定 ____ 月 ____ 日)
振込手数料はご負担ください。

※お申込みを頂きましたら、①受講票②会場までの交通案内をお送り致します。

★通信欄

--

※いただいた個人情報は、適切に管理致します。